



分かりやすく情報をお知らせするため ホームページとの連携強化

平戸市議会だより「とかいせん」は、令和元年5月1日発行の第61号より、分かりやすく、親しみやすい議会だよりを目指し、リニューアルしました。

リニューアルに伴い、全ページフルカラー化し、レイアウト等も変更しています。

また、限られた紙面の中で、市民の皆さんにより分かりやすく議会の情報をお知らせするため、議会ホームページとの連携を強化しています。

各ページにQRコードがありますので、スマートフォンなどで読み取っていただくと各議員の一般質問の録画映像をはじめ、各常任委員会の委員長報告などをご覧いただけます。

今後も、分かりやすい情報発信を目指し、市民の皆さんにより多くの情報をお伝えできる方法について、研究していきます。

議会だよりをはじめ議員の紹介、審議結果などをご覧いただけます。

本会議、委員会などの生中継、録画中継(本会議のみ)をご覧いただけます。

子ども議会が開催されます！

〇とき 令和元年8月7日(水曜)
午後1時10分～午後3時40分(予定)

〇ところ 平戸市議会議場(市役所本庁4階)

〇参加校 中野中学校
野子中学校
田平中学校
大島中学校

一般の方も傍聴できます。ぜひ、中学生の生の声を聞きにお越しください。

また、子ども議会の様子はインターネットでも配信しますので、ぜひ、ご覧ください。

傍聴に行きましょう！

本会議(定例会、臨時会)はどなたでも自由に傍聴することができます。

どうぞ、お気軽にお越しください。

傍聴方法	
手続き	市役所本庁4階にある議場の傍聴席入口で受付(住所・氏名等を記入)を済ませてから入室してください。
会議資料	傍聴席入口に日程表などの資料がありますので、ご自由にお持ちください。
傍聴席	議場の傍聴席は44席設けています。

●平戸城を中心とした亀岡の杜(亀岡公園)に「桜」の植栽事業を推進すべし ●がん患者のかつら購入補助制度について

辻 賢治(政和会)



●再築城300年記念事業から日本100名城初の宿泊施設化事業へと、平戸城を中心とした観光戦略を今後展開すると思う。長く名の残る観光名所として、平戸城を中心とした亀岡の杜(亀岡公園)のトータルデザインを考えた植栽等の環境整備を行えないか。

●城を核として、亀岡公園全体に植栽等を広げると、さらなるイメージアップにつながると思うので、事業の検討を進める。

●亀岡の杜(亀岡公園)全体が、国内外に脚光を浴びるような桜の名所となるよう、桜の植栽を行なってほしい。注目を集める事業を機にやるべきである。

●城の宿泊化事業に合わせ、取り組めるものから取り組む。

●50年、100年後も名所となるよう、壮大な夢だが、千本桜を目指してほしい。市長の見解を伺う。

●桜は、本市のシンボルである優雅な平戸城を引き立てる格好の材料だ。桜の名所となるよう整備を進める。



●令和元年度における組織の新体制に期待するものは ●新各部署局長の令和元年度の抱負について

松尾 実(市民クラブ)



●がん患者の抗がん剤治療による副作用脱毛は、男女問わず深刻な問題。早期の社会復帰、職場復帰に向け、かつらを使用するケースが多い。平戸市でもがん患者のかつら購入補助制度ができないか市長の考えを伺う。

●治療の過程における外観の変化が、就労や日常生活に支障をきたすことが考えられる。どのような形で補助ができるか、上限設定や所得基準、いろいろな格差は正の基準があるので、先進自治体の事例を研究しながら、どこまで対応できるか検討する。

●本市の組織体制も4月から各部署とも新しい顔ぶれとなったが、市民サービスの向上、充実に努めるための抱負とそれぞれの問題・課題解決に向けた取り組みを尋ねる。

●平戸市未来創造羅針盤の実現に向け、各種施策を推進する体制を構築することを念頭に定員適正化計画を踏まえ、職員の適材適所の人材配置を行い、産業人材確保につながる高等教育機関の誘致等を専属して行う地域人材対策室を財務部企画財政課の中に、雇用の場の創出につながる企業誘致等を専属して行う企業立地推進室を文化観光商工部商工物産課の中に設けて業務に努めてまいらる。

●(総務部長) 多様化・高度化する地域課題や行政課題に対して、積極的に取り組む職員の育成と資質向上を図り、市民に信頼される職員の育成と職場環境の整備に努める。次に行政改革の推進については、公共施設等総合管理計画の推進は、市有財産を総合的・二元的に管理し、実効性ある組織体制の整備に努める。また、各種補助金、委託料、使用料等の見直しは、今年度中に方針案を策定し、

民間有識者による委員会を設置・審議し、令和3年からの実施を目指す。ただし、特に補助金等で実績に見合わないものについては、その都度、見直しを行う。次に、公共交通基盤の整備については、現在、中・南部地区で運行しているふれあいバスの運行内容の検討および交通網形成計画で設定した交通空白地帯の交通体制について、地域やまちづくり運営協議会等と連携しながら運行体制整備に努める。

●(市民生活部長) 国民健康保険制度の健全な運営については、医療の高度化、高齢化により、一人当たりの医療費は年々増加している。また、国保の被保険者数は年々減少しており、財政運営が大変厳しい状況である。よって被保険者の負担をできる限り軽減させるべく、健診受診率向上に取り組む、疾病予防を図り、国民健康保険制度の健全な運営に努める。

●(福祉部長) 本市の高齢化率は、39.2%で、2025年には43.6%となると推計されている。今後、地域包括支援センターを核として関係機関や各種団体、地域住民等との協力・連携を強化し福祉の充実を図っていく。